

第4回日本プロセス化学会 東海地区フォーラム

出前講義連携企画・G研セミナー

開催概要

日時：2026年10月15日（木）13:00～16:00

会場：静岡大学浜松キャンパス@総合棟24教室

主催：日本プロセス化学会 東海地区フォーラム

共催：静岡大学グリーン科学技術研究所

開催趣旨

- 本フォーラムは、日本プロセス化学会の出前講義と連携して開催するものです。
- 学术界および産業界から講師をお招きし、最新の科学ならびにプロセス化学に関する知見と、実践的な取り組みについてご講演いただきます。
- 東海地域におけるプロセス化学分野の交流と発展を目指し、学生、大学関係者、企業研究者の皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

13:00～13:05 開会あいさつ

13:05～14:25 学术界講演

講師：山口潤一郎 先生（早稲田大学 教授）

題目：分子骨格を“作り直す”化学

概要：分子骨格を“作り直す”ことは、医薬・材料分子の機能を根本から再設計するための有力なアプローチです。本講演では、結合の切断と再形成を精密に制御し、分子構造を組み替える「結合再配線」に基づく新しい分子変換を紹介します。とくに、芳香族ケトンを単一工程で異なる芳香環へ変換するヘテロ芳香環スワッピング反応や、ラジカルと遷移金属触媒を組み合わせた骨格変換に焦点を当てます。従来の多段階合成に頼らず、分子骨格そのものを直接編集できる点が特徴です。併せて、時間が許せば Chem-Station についてもご紹介します。

14:25～14:35 休憩

14:35～15:55 産業界講演

講師：臼谷弘次 氏（小野薬品工業株式会社）

題目：医薬品開発におけるプロセス研究と連続生産（フロー合成）技術の活用

概要：低分子医薬品は、多様なモダリティが登場する現在においても、依然として製薬産業の中核を担う重要な領域です。有機合成化学や化学工学の知見を基盤に、安全性・コスト・供給安定性を満たしつつ、スケールアップ可能な製造プロセスを構築することは、プロセス化学者の使命であり、研究者の腕の見せ所でもあります。本講演では、医薬品開発におけるプロセス研究の役割を平易な言葉で紹介するとともに、連続生産（フロー合成）技術を活用した最新のプロセス開発事例も取り上げます。学生・研究者・技術者の皆さまに、新たな視点や気づきのヒントをお届けできれば幸いです。

15:55～16:00 閉会あいさつ

参加費

フォーラム：無料

情報交換会：実費（後日ご案内いたします）

申込方法

以下の Forms よりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/wXxaS7Rr87>



備考

- 講演内容およびプログラムの詳細は、決まり次第、順次お知らせいたします。
- 関連情報は学会ホームページにも掲載予定です。

https://jpsc-home.com/wordpress/?page_id=133

問い合わせ先

静岡大学工学部・グリーン科学技術研究所 間瀬暢之

E-mail：mase.nobuyuki@shizuoka.ac.jp

